

観光社会資本の事例

テーマ	江戸時代の宿場を残す下野街道
【施設の状況写真】   <p data-bbox="183 797 738 943">歴史的環境を現代に伝える大内宿。その中央を走る歴史の道「下野街道」は殿様の参勤交代の道であった。この風景は写真家の絶好のポイントの一つとされている。</p> <p data-bbox="850 797 1406 943">四囲を険しい山々に囲まれた下野街道は、昔、大名行列や物資輸送の馬方たちが踏み固めた、歴史ある道路である。</p>	
【施設の利用写真】   <p data-bbox="183 1435 715 1570">氏神様として祀った高倉神社の半夏祭りは古代行列さながら村をねり歩く伝統的祭事であり、これを目当てに多くの観光客が訪れる。</p> <p data-bbox="850 1435 1382 1570">雪まつりは、夏とはまったく違った趣きのある祭りとして知られるようになり、年々観光客も増えている。</p>	
【観光資源としての利用状況】 <p data-bbox="148 1637 1445 1816">当該道路は、江戸時代の宿場の面影を今に残す大内宿を通り、かつて江戸に向かう参勤交代の街道として栄えた下野街道である。大内宿は、昭和56年に国の重要伝統的建造物群保存地区に選定され、その後、宿内の当該道路は、沿線の萱葺き屋根の町並みとの調和を図るため、クレイ舗装とした。</p> <p data-bbox="148 1827 1445 1917">江戸時代にタイムスリップしてしまったような錯覚さえ感じさせる町並みと現代人が忘れかけた何かを求めて、年間80万人もの観光客が全国から訪れている。</p> <p data-bbox="148 1928 1445 2007">また、夏は、大内宿半夏祭り、冬は、大内宿雪まつり等のイベントにも活用され、県の代表的な観光資源となっている。</p>	

テ ー マ

江戸時代の宿場を残す下野街道

【社会資本の基礎データ】

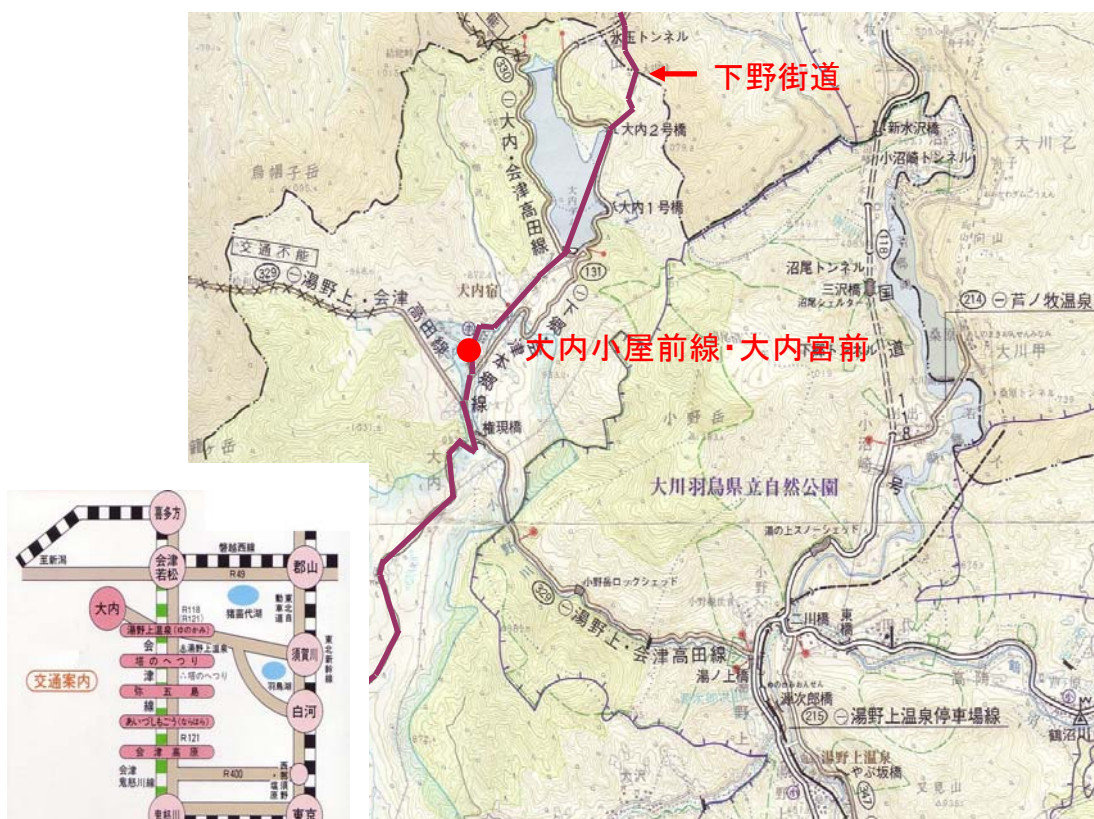
- 名 称 下郷町道 大内小屋前線・大内宮前線
- 所 在 地 南会津郡下郷町大字大内地内
- 事 業 名 大内宿 ウォーキングトレイル事業
- 事業期間 平成8年度～平成12年度

【社会資本の役割・効果】

大内宿は国の重要伝統的建造物群保存地区に指定されており、平成8年度から宿場内の道路にウォーキングトレイル事業として、木橋、既存建造物の修景、案内板設置、休憩施設設置などを実施してきた。さらに、大内宿の中央通りは、日本の原風景である萱葺き屋根と土の道の風情を後世に残そうと、一般的なアスファルト舗装とはせず、土の道のやわらかさ、やさしさ、やすらぎを体感できるようにした。

沿線の萱葺き屋根の町並みと土の道との調和が人気を呼び、年間80万人もの観光客が全国から訪れており、県内有数の観光資源に成長した。

【位置図】



【関連ホームページ】

いで湯と溪谷の里 会津下郷町 <http://www.town.shimogo.fukushima.jp/>

